

第24回

『子どもと健康』研究フォーラム 8月17日(金)開催のご案内

今年の記念講演講師も、テレビ等でおなじみの、出口保行さんです!

記念講演

子ども心理学からみた問題行動

——子どもたちを被害者、加害者にさせないために

講師 出口 保行さん (東京未来大学 子ども心理学部長)

午前の部は、テレビ等でも大人気の犯罪心理学者、出口保行さんです!

出口さんは、1985年大学院修了と同時に国家公務員上級心理職として法務省に入省。以後、全国の少年鑑別所、刑務所、拘置所で犯罪者を心理学的に分析する資質鑑別に従事。心理分析した犯罪者はなんと1万人以上。その他、法務省矯正局、法務省法務大臣官房秘書課国際室勤務等を経て、2007年法務省法務総合研究所研究部室長研究官を最後に退官され、東京未来大学子ども心理学部教授に着任。2013年から同学部長を務められています。

現在、日本テレビ「ナカイの窓」、フジテレビ「全力脱力タイムズ」にレギュラー出演。テレビ朝日「モーニングショー」「ワイドスクランブル」、日本テレビ「スッキリ」「ミヤネ屋」、TBSテレビ「ヒルオビ」、フジテレビ「グッディ」「ユアタイム」などの報道番組でコメンテータを務めるほか、全国の官公署等で年間300本以上の講演をこなすなど、大活躍されています。

少年鑑別所や刑務所、拘置所で出会った「加害者」に向き合ってきた出口さんから、問題行動を起こしてしまう子どもの心理をうかがい、子どもたちを加害者にも被害者にもさせないためにどうしたらよいのか学びたいと思います。



分科会

第1分科会 学校救急処置 保健室での見立てのコツ 外傷篇——フィジカルアセスメントの手法を生かして

講師 鋪野 紀好さん(千葉大学医学部附属病院総合診療科 特任助教 兼 総合医療教育研修センター)

第2分科会 LGBTにどう向き合い、どう教える?——当事者の話や健康教育実践からの学び

講師 薬師 実芳さん(NPO法人ReBit 代表理事)

内海崎 貴子さん(川村学園女子大学教育学部児童教育学科(小学校教員養成課程)学科長)

実践紹介: 及川 比呂子さん(三浦市立初声小学校 養護教諭)

第3分科会 養護教諭として子どもを見る目と教育的対話法を身につけるために

——話しているだけで子どもが良くなる対話(声かけ)法

講師 大草 正信さん(臨床心理士・学校心理士 「大草心理臨床・教育相談 お〜ぶんラボ」主宰 横浜国立大学教育人間科学部非常勤講師)

夏休みの1日、仲間の養護教諭とともに学び、交流しましょう!

●日 時: 2018年8月17日(金) AM10:00~PM4:30

●会 場: 東京・神保町、日本教育会館内「一ツ橋ホール」他会議室

●参加費: 7,000円 ●主催: 『子どもと健康』編集委員会

プログラム 2018年8月17日(金) [受付開始] 午前9:30 [開会] 午前10:00

午前

10:00~12:00 (日本教育会館 一ツ橋ホール)

記念講演 10:05~11:50

子ども心理学からみた問題行動

——子どもたちを被害者、加害者にさせないために

講師 出口 保行さん (東京未来大学 子ども心理学部長)

午後の分科会 13:00~16:30

会場は以下の日本教育会館内会議室。予定会場に変更が出るかも知れませんが、当日、受付でご確認のほどお願いいたします。

第1分科会 (一ツ橋ホール)

学校救急処置 保健室での見立てのコツ 外傷篇

——フィジカルアセスメントの手法を生かして

講師 鋪野 紀好さん (千葉大学医学部附属病院総合診療科 特任助教 兼 総合医療教育研修センター)

フィジカルアセスメントとは、問診・打診・視診・触診などを通して、症状の把握や異常の早期発見を行なうことです。

大好評だった昨年に引き続き、今年も鋪野さんから保健室での見立てのコツ(外傷篇——主に頭部外傷に加え、見逃してはいけない「DV外傷」など)について学びます。日頃、「健康観察」「問診」し、「子どものニーズをつかむ」ことを心がけている養護教諭の実情に即しながら、保健室に来る子どもたちの外傷をみるコツ、ポイントをお話しいたします。

第2分科会 (8階 第1会議室 定員280人)

LGBTにどう向き合い、どう教える？

——当事者の話や健康教育実践からの学び

講師 薬師 実芳さん (NPO 法人 ReBit 代表理事)

内海崎 貴子さん (川村学園女子大学教育学部児童教育学科(小学校教員養成課程)学科長)

実践紹介: 及川 比呂子さん (三浦市立初声小学校 養護教諭)

「LGBT」の言葉をよく目にするようになりました。でも気になるあの子にどう接し、他の子どもたちにどう教えたらいいのでしょうか。当事者の立場から薬師さんより「LGBTもありのままオトナになれる社会へ——学校に求めたいこと」について語っていただいた後、及川さんが「健康教育の一コマ」としての実践を紹介。そして人権としてのジェンダーや多様な性と生、自分そして他人を尊重し認め合える学校教育について内海崎さんからヒントをいただきながら、学校のかかわり方や子どもたちへの指導の方法を話し合い、学び合います。

第3分科会 (9階 飛鳥 定員170人)

養護教諭として子どもを見る目と教育的対話法を身につけるために

——話しているだけで子どもが良くなる対話(声かけ)法

講師 大草 正信さん (臨床心理士・学校心理士「大草心理臨床・教育相談 お〜ぶんラボ」主宰 横浜国立大学教育人間科学部非常勤講師)

保健室に、子どもたちは「無防備」にやってきて、身構えたり緊張したりすることなく、何気ない会話を通して心身の不調や漠然とした不安・心配、良い子になれないその思いを話し始めます。そんなとき、ただ何となく話をするだけではなく、どのように対話すれば一歩前に進めるのか。多くの子どもたちを劇的に成長させてきたベテラン教育カウンセラー大草さんからそのコツを伝授していただき、養護教諭としての支援について共に学び合います。

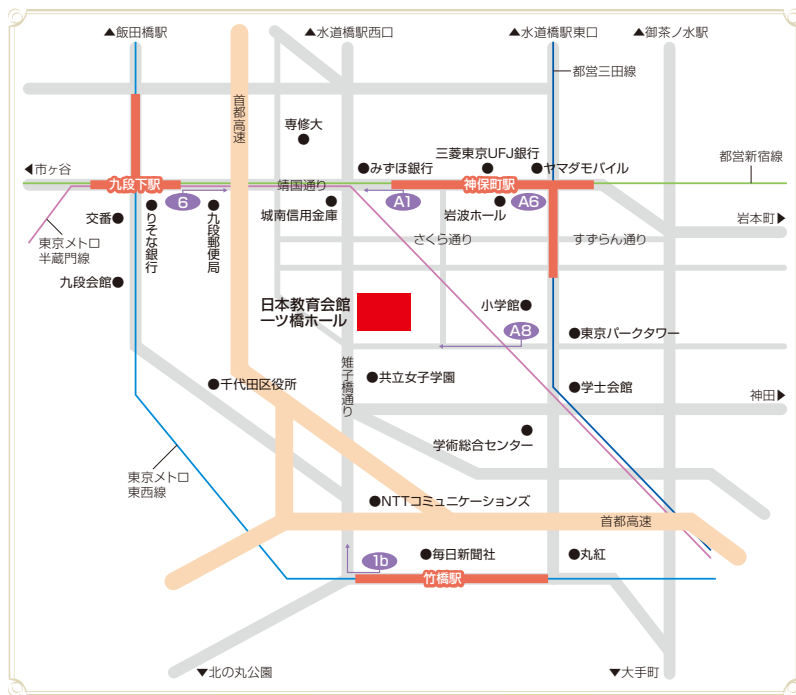
■参加のお申込みは、右にある郵便振替用紙にご記入のうえ切り取って、郵便局からお申し込みください。3つの分科会(第1・第2・第3)の中から、第1希望、第2希望の分科会をご記入ください。

■ご入金いただいた後、参加証をお送りいたします。

■参加のお申込み・お問合せは、労働教育センター 東京都千代田区神田神保町2-2-34 千代田三信ビル5F
Tel 03-3288-3322 Fax 03-3288-5577

日本教育会館 一ツ橋ホールへの交通案内

※会場は場所によって冷房の強弱がありますので、必要な方は上着等をご用意ください。



〈所在地〉

日本教育会館 ▶ 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 道案内専用電話 03-3230-2833

〈交通〉 電車の場合

- 日本教育会館 ▶
- 地下鉄 都営新宿線・東京メトロ半蔵門線 神保町駅(A1出口)下車徒歩3分
 - 一ツ橋ホール
 - 地下鉄 都営三田線 神保町駅(A8出口)下車徒歩5分
 - 地下鉄 東京メトロ東西線 竹橋駅(1b出口)下車徒歩5分
 - 地下鉄 東京メトロ東西線 九段下駅(6番出口)下車徒歩7分
 - JR 総武線 水道橋駅(西口出口)下車徒歩15分

「子どもと健康」研究フォーラム開催一覧(毎年8月に開催)

回	午前：記念講演 講師	午後：分科会
第11回	やってみよう!保健の授業 上條晴夫	①こんなときどうする?救急処置 ②おもしろ・楽し 子どもたちの力がつく保健の授業 実践編 ③ヘルスカウンセリングを学ぶ
第12回	「オイカワ流授業」に参加しよう! 及川比呂子 上條晴夫	①学校救急処置 劇症型アレルギー:アナフィラキシーと症状 ②何のための性教育? 今できる性教育を ③健康相談活動に生かすカウンセリングスキル
第13回	産婦人科医院の診察室からみた子どもたちの性と生 河野美代子	①どう関わる?特別支援教育 ②学校救急処置 整形外科 ③性教育(模擬授業)
第14回	養護教諭を取り巻く状況 中教審答申と養護教諭 鈴木裕子 子どもの問題、おとなの問題、学校の問題 香山リカ	①学校救急処置 眼科 ②災害発生時の養護教諭の対応と保健室の役割 ③「発達障害」の子の支援 子どもの自立を促す自己肯定感をどう高める?
第15回	モイストヒーリング 体の自然な回復力を生かしたキズケア 塩谷信幸	①モイストヒーリング実践編 ②いま、心のケアに求められるもの ③「特別支援教育」を考える 子どもの自立を促す自己肯定感 ④養護教諭のごと私の取り組み
第16回	子どもの体温免疫力を上げる 安保徹	①フラインドクターが語る学校での緊急を要するケガや病気 ②養護教諭が知って役立つ東洋医学の基礎知識 ③子どものメンタルヘルス いじめ・不登校を中心に考える ④ここから始めよう性教育
第17回	違いを認め合うということ 姜尚中	①子どもを頭痛から守るには ②ホスピタル・クラウンの活動から学ぶ 子どもの心のケア ③保健室で役立つ東洋医学実践編 ④私たちの保健教育 現役養護教諭による実践例紹介
第18回	講談 チェルノブイリの祈り 神田香織	①発育期におけるスポーツ障害 ②保健室で使える東洋医学 ③第1回シンポジウム 東日本大震災と養護教諭 ④養護教諭として大切にしていること
第19回	反骨の救急救命医から学ぶ「トリアージ」 阿南英明	①養護教諭が取り組む「トリアージ」の可能性 ②アナフィラキシーと学校対応 ③第2回 シンポジウム 東日本大震災と保健室 ④健康教育の授業をどう創る 子どもをひきつける指導技術・指導方法
第20回	腸内環境を整備して快適生活を! 小林弘幸	①災害時、養護教諭にしてほしい「トリアージ」実習講座 ②心身に問題を抱える子どもにどう寄り添い、どう支援するか ③第3回 シンポジウム 東日本大震災と保健室 ④今、求められている性教育を考える
第21回	「性」の健康とは 産婦人科医が語る10代の性と生の今 早乙女智子	①救急処置 耳鼻咽喉疾患と学校での対応 ②発達障がいのある子の理解と支援 ③やってみよう!性と生の教育
第22回	子どものスマホ依存の実態と、その対応 三原聡子	①スポーツ障害から子どもを守る ②発達の課題をかかえる子への将来をみずえた対応 ③学校の危機管理・事故対応で大事なこと
第23回	命の食事～大切な子どもたちを病気から守る食事と生活 南雲吉則	①救急処置 保健室での見立てのコツ ②どうする? 保健室の整理整頓、レイアウト ③子どもの尊厳・いのちを守るとは——「指導死」「いじめ死」から考える

(株) 労働教育センター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2-34 千代田三信ビル5F
TEL. 03-3288-3322 FAX. 03-3288-5577 URL <http://www.rks.co.jp/>